科目コード	R24124	科目名	中国語入門				
履修区分	選択	開講期	1年前期	授業回数	15回	単位数	2単位
担当者	范　叔如						
授業の概要	中国語の発音及び基本的な文法事項を習得し、中国語の基礎学力を養成する。 初歩的な文法を詳しく説明し、テープ・ビデオの利用により、発音をマスターする。						
DPとの関連	①平和を希求する心と豊かな人間性を身につける						○
	②修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける						ー
	③高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける						△
	④地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける						○
	2025年度以降の学則適用者用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください						
	※DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力						
到達目標	ローマ字による発音の方法やこつと簡単なコミュニケーションが出来るようになる。						
履修上の注意事項	積極的に授業に参加する事、必ずテキストを持参してノートを取る事、無断で欠席しない事。						

授業計画

回数	講義内容【担当教員】	事前・事後学修
1	学習の概略説明と使用テキスト・辞書の紹介。中国・中国語についての簡単な説明	中国と中国語について本やインターネットで調べてみる。（4時間）
2	発音1　声調、単母音と複母音	発音1のCDを聴いて、繰り返す練習をする。（4時間）
3	発音2　子音 ①無気音と有気音	発音2　子音のCDを聴いて、繰り返す練習をする。（4時間）
4	子音 ②そり舌音	発音2　子音のCDを聴いて、繰り返す練習をする。（4時間）
5	発音3　鼻音を伴う母音と変調	発音3 鼻音と変調、声調の組み合わせと数字のCDを聴いて、繰り返す練習をする。（4時間）
6	簡単な挨拶表現と発音テスト	発音3の常用挨拶のCDで繰り返す練習をする。発音1から常用挨拶まで全てCDで聞く。（4時間）
7	人称代名詞、動詞述語文、形容詞述語文、副詞	第4課単語文を暗記する。（4時間）
8	本文、会話と「聞く、書く、話す」	本文の会話と「聞く、書く、話す」CDで練習する。（4時間）
9	指示代名詞と疑問詞疑問文	第5課単語文を暗記する。（4時間）
10	反復疑問文 存在を表す“在”	第4課から学習した文法を理解する。（4時間）
11	本文、会話と「聞く、書く、話す」	本文の会話と「聞く、書く、話す」CDで練習する。（4時間）
12	「所有」を表すと連動式文	第6課単語文を暗記する。（4時間）
13	本文、会話と「聞く、書く、話す」	本文の会話と「聞く、書く、話す」CDで練習する。（4時間）
14	映像を通して中国を知る	現代中国の歴史年表などの資料を調べる。（4時間）
15	総復習	第4課から第6課までの復習をする。（4時間）

成績評価方法	発音テスト20%（テストの点数）＋練習問題20%（授業中の宿題の完成度）＋期末60%（テストの点数） ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。

	書名・著者（出版社）	ISBNコード
教科書	友子の北京ライフ　李志華・文南　著（白帝社）	978-4-89174-905-7
参考書	はじめての中国語学習辞書　相原　茂　編著（朝日出版社）	978-4-25500-113-5

教員からのメッセージ	1.テキスト附属のCDの発音を聞く事。 2.本文と文法を復習する事。 3.宿題をしっかりしておく事。
教員との連絡方法	講義前後に教室か講義室にて直接質問をしてください。 講義時間以外は基本的に在学していないので、上記の方法で隙を見て気軽に話しかけてください。
実務経験のある教員	文化交流経験をいかし、異文化間のコミュニケーションの重要性について解説する。